

■博士後期課程 [社会人入学]

(勤務先)	(論文題目)
池田 和外 小嶋 貞二	表情による基本感情の評価に関する研究 海洋波浪計測におけるマリンレーダーの適用に関する研究

■博士前期課程

(進学・就職先)	(論文題目)
浅井 仁 市来 隆彦 桂樹 哲雄 古水 就也 武内 祐二 豊谷 龍人	新しい平板摩擦抵抗係数算定式の提案とその検証 西部熱帯太平洋海域における密度境界面の変動に関する基礎的研究 重力流の発達段階の遷移に関する基礎的研究 随伴変数法を用いた二次元翼形状改良問題に関する研究 巨大客船の損傷時浸水中間段階における挙動に関する実験的研究 自由表面影響を考慮したマルチブロックRANS法によるアベンテージ付きアメリカ杯レース艇の流体力特性に関する研究 三角形メッシュを用いた有限体積法によるナビエ・ストークス方程式の解法 CFD援用多目的最適化手法の開発及び応用-特にタンカー船尾形状最適化について 上昇気流の形成過程に関する研究 周期可変型アンチローリングタンクの減揺特性に関する基礎的研究 閉鎖性内湾流場の推定に関する基礎的研究 曲げと圧縮を受ける円筒柱の崩壊挙動に及ぼす衰耗の影響の評価法に関する研究 沿岸海域環境に対する陸域流出負荷の影響把握・評価に関する研究
谷本 周太	(株)三井造船
遠山 智志	(株)キーエンス
夏目 匠 原田 真帆 藤波 弘典 八木 乙功	ユニバーサル造船(株) ユニバーサル造船(株) カテナ(株) (株)IHIアムテック
矢野 健太	キャノン(株)

■学部生

(進学・就職先)	(論文題目)
生田 方明 伊藤 藍 太田 光一 大道 典子 岡 浩太郎 奥野 雅敏 金子 将史 金子 玄番	アオサのバイオマスガス化に関する実験 ペンタマラン型高速RORO船の性能評価 海水の硝酸イオン連続計測に関する実験 LNG船球形タンクシステムの座屈強度直接計算手法の構築に関する研究 マルチブロックCFDによるUPWIND SAIL流体力に及ぼす船体影響の検討 差分スキームによる津波シミュレーション・プログラミング 高速三胴船の抵抗性能評価 由良湾水・底質環境の変化 -10年間の環境調査のまとめ- 緊張係留式没水浮体の波浪中応答に及ぼす断面形状の影響に関する実験的研究 剛体を有する柱状体の衝撃および波浪中応答に関する実験的研究 粘性流場の逆解析手法に関する研究 浮体型廃棄物処理/再資源化システムの機能最適化に関する基礎研究 多様な生物種の変動を表す生物群集モデルの生物パラメータに関する検討 コーナー形状が薄肉フレーム部材強度に及ぼす影響の研究 船型フェアリングの自動化に関する基礎的研究 アオサによる亜硝酸、硝酸の吸収の測定に関する研究 リボン鋼と銅の接触面における磨耗損傷と温度上昇挙動に関する実験的研究 バンドウイルカの鳴音に関する調査 顧客満足度を目的関数とするポート選択法に関する研究 CCDカメラ画像を用いた海面放射輝度の解析 多目的GAを用いたCFD援用船型最適化の実践 海洋深層水による藻場修復の研究-海藻摂餌モデルの改良と影響予測- 海洋生物のDNA塩基配列決定と進化の系統樹作成 矩形平板型浮体の斜波中応答に関する実験的研究 CADとCFDを用いたタンカー船型の船尾形状改良 -伝達馬力低減を目指して- 海上における廃棄物処理施設の実現可能性に関する検討
小泉 崇 佐藤 啓介 田村 裕貴 中島 敦子 野田 裕久 乗貞 光志 秦 睦弥 平松 宗也	幸陽船渠(株) TIS(株) 大阪府立大学大学院 大阪府立大学大学院 大阪府立大学大学院 大阪府立大学大学院 大阪府立大学大学院 セキスイハイム大阪(株) 大阪府立大学大学院
福田 恵子 福本 茜 藤原 見名子 古井 義人 本田 矩崇 山本 暁子 村上 勲 小池 祐輔	大阪府立大学大学院 ダイハツ工業(株) 大阪府立大学大学院 (株)新来島どっく 大阪府立大学大学院
中谷 聡	(株)新来島どっく

■鷗朋会ニューズレター 第4号

発行日/2005年4月13日

鷗朋会(けきほうかい)

〒599-8531 大阪府堺市学園町1-1
大阪府立大学大学院工学研究科 海洋システム工学分野気付
http://msweb.marine.osakafu-u.ac.jp/~web01/ob/ob.htm
E-mail: doso@marine.osakafu-u.ac.jp
TEL/FAX : 072-254-9914

鷗朋会 ニューズレター

【第4号】2005.4

岡田博雄先生、姫野洋司先生、細田龍介先生のご退職を記念する謝恩会のご案内

拝啓

時下ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、岡田博雄先生、姫野洋司先生、細田龍介先生は、本年3月をもって大阪府立大学を定年退職されました。
先生方への感謝の意を表す謝恩会を計画していることをすでにご案内申し上げ、多くの方から出席の申し込みをいただいておりますが、ここに再度ご案内させていただきます。

敬具

謝恩会実行委員会

記

岡田博雄先生、姫野洋司先生、細田龍介先生のご退職を記念する謝恩会

日時：2005年4月30日(土) 12:00~15:00

場所：大阪府立大学 学術交流会館

会費：10,000円

(下記郵便振替口座にお振込み頂くか、当日受付にてお支払い下さい)

郵便振替口座番号 00970-0-191452 口座名「退職記念会」

参加申込：web上よりお申し込み下さい。

申込締切：2005年4月25日(月)

問合せ先：〒599-8531 堺市学園町1-1

大阪府立大学工学研究科 海洋システム工学分野気付

退職記念謝恩会実行委員会

TEL/FAX : 072-254-9914

e-mail : thanks@marine.osakafu-u.ac.jp

Web URL : http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/thanks/



←曳航水槽の屋根が
きれいになりました。

卒業生の皆さん、ぜひ見に来てください!

大阪府立大学 工学部

海洋システム工学科の

A0入試 (アドミッション・オフィス入試) のご案内 (平成18(2006)年度入学)



大阪府立大学工学部海洋システム工学科では平成18年度入学者を対象にAO入試を行います。海洋に関する工学に興味と夢がある方、海洋システム工学科AO入試にチャレンジしませんか。

アドミッションポリシー(入学審査方針)



海洋システム工学科では、海と人間との共生を前提にした海洋の利用と、海の世界保全・創造に関する研究者、技術者を育成しています。AO入試においては、高等学校で履修する科目に関して高い基礎学力を有しているとともに、海に関連する工学に興味を持っており、大学で学んだ学問を社会で生かしていく意欲のある、強いリーダーシップをもつ次のような学生を求めています。

- ①海洋システム工学の分野における次世代リーダーとなりうる人
- ②海という自然と海で使われる人工物(船や海洋構造物など)に興味と情熱のある人
- ③自身の学業・生活に対して責任感のある人
- ④高等学校においてトップクラスの成績を修め、大学での修学に対して十分な基礎学力のある人

選考方法:調査書・面接試問・小論文
 出願書類受付期間:平成17年7月1日~7月27日
 提出書類:入学願書・健康診断書・調査書・志願理由書・自己アピール(推薦書は必要ありません)
 選考日程:第1次選考 平成17年8月7日(日)
 第2次選考 平成17年8月29(月)-30日(火)

時間に余裕のある夏休みに、第1次選考、第2次選考の2回の選考を実施します。3日間じっくりと時間をかけて、小論文、模擬講義受講、プロジェクト課題、面接等を行い、適性、意欲、情熱等を総合的に評価して選抜を行います。従来の大学入試と方法が異なりますが、自然体で受験をしていただければ結構です。選抜方法、入学後の教育内容等に関する疑問がございましたら気軽にご質問下さい。

問い合わせ先:

住所: 〒599-8531 堺市学園町1番1号
 大阪府立大学工学部海洋システム工学科AO入試係
 電話: 072-254-9345, ファックス: 072-254-9914
 電子メール: masaoka@marine.osakafu-u.ac.jp
 ホームページ: <http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/>



■募集人員及び募集方法

海洋システム工学科AO入試募集人員は、次のとおりです。

全国枠 2名 ・ 大阪府内枠 1名 計3名



■1次、2次選考および入学手続

1次選考、2次選考および入学手続の日時等は、次のとおりです。

科目等	試験日・	試験時間・	合格発表日時・場所
1次選考 小論文, 面接 試問等	平成17年 8月7日(日)	10:00~17:00	平成17年8月11日(木) 13:00~ 工学部5号館(A9棟) 正面玄関
2次選考 小論文, 面接 試問等	平成17年 8月29日(月)	13:00~17:00	平成17年9月9日(金) 13:00~ 工学部5号館(A9棟) 正面玄関
	8月30日(火)	9:00~17:00	
入学手続	平成17年9月26日(月) ~28日(水)	9:00~17:00	備考
			入学手続には高等学校長が保証する入学誓約書が必要。

注1) 1次・2次選考は、大阪府立大学工学部学舎(堺市学園町1番1号)で行います。

■歓迎会および入学前教育

入学手続き者に対し、平成17年10月2日(日)に、大阪府立大学において歓迎会と入学前教育のオリエンテーションを行います。入学前教育は10月から半年間で、その目的は、大学での教育・研究と高校における教育の関連を知ることにより高校における学習意欲の向上を目指し、大学での学習に必要な論理的思考力、問題解決能力、創造力の早期育成を図ることにあります。また、入学する学科の教育方針、研究内容を事前に知り、入学後における自身の大学生活の計画を綿密に練ることにもつながります。

内容としては、

- (1) 各学科によるメール等を利用した通信教育。
- (2) 高校における学習状況・学外活動等に関する簡単なレポートの提出。
- (3) 入学する学科の教員による面談・指導等。
- (4) 入学前教育の内容・進捗状況の高校の担任への報告。などを予定しています。